

該当クラス：普通科・理数科・美術科

1 単元 現代評論「虚ろなまなざし」岡 真理

2 単元の見どころ	3 評価規準
<p>読むこと</p> <p>◎筆者の問題意識を把握する。(I)</p> <p>◎我々が「虚ろなまなざし」に耐えかねる理由を整理し、被害者としての自分を他者に同一化することの暴力性を理解する。(C)</p> <p>◎ヒューマニズムという言葉で語られる行動の主体化の功罪について考える。(C)</p> <p>書くこと</p> <p>◎社会問題の中からテーマを決めて意見を書く。(E)</p>	<p>読むこと</p> <p>①一枚の写真とそれを巡る出来事に対する筆者の問題意識を把握することができたか。</p> <p>②我々が難民の子どもの「虚ろなまなざし」に耐えかねる理由と、被害者としての自分を他者に同一化することの暴力性について理解することができたか</p> <p>③ヒューマニズムという言葉で語られる行動の主体化の功罪について考えることができたか。</p> <p>書くこと</p> <p>④社会問題の中から適切なテーマを設定し、自分の意見を書くことができたか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	学習プリントの自己採点	1	事前に配布済みの学習プリントの自己採点	提出プリントによる確認	① ～ ④
第2回	事前に集約した学習プリントに関する質問項目	1	動画による質問に対する内容解説	定期考査等	① ～ ③

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

該当クラス：普通科・理数科・美術科

1 単元 現代評論「陰翳礼讃」谷崎潤一郎

2 単元の目標	3 評価規準
<p>関心・意欲・態度</p> <p>◎日本文化の変容について関心を持って調べたり、考察したりする。(E)</p> <p>読むこと</p> <p>◎日本文化の魅力について理解する。(I)</p> <p>◎筆者の研ぎ澄まされた感覚を読み取ることができたか。(C)</p> <p>◎読者の共感を誘う、工夫された筆者の特徴的な表現を理解する。(I)</p> <p>書くこと</p> <p>◎学習プリントの設問に対する解答として、適切な言葉を使用する。(I)</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>①本評論をきっかけに日本文化に対する関心を深め、現代の生活において陰翳の在り方がどのように変容しているか、関心を持って調べたり、考察したりすることができたか。</p> <p>読むこと</p> <p>②筆者が述べる日本の漆器・料理の魅力を、具体例に即して理解することができたか。</p> <p>③薄暗い昭和初期の日本家屋の夜を想像しながら、筆者がどのように感覚を研ぎ澄ましているか読み取ることができたか。</p> <p>④特徴的な表現をもとに、五感を駆使し、読者の共感を誘う筆者の工夫を理解することができたか。</p> <p>書くこと</p> <p>⑤学習プリントの設問に対する解答として、適切な言葉を使用しているか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	プリント第1回学習範囲	1	語句及び問題 (5題)	提出プリントによる確認	①～⑤
第2回	プリント第2回学習範囲	1	語句及び問題 (6題)	提出プリントによる確認	①～⑤
第3回	プリント第3回学習範囲	1	語句及び問題 (7題)	提出プリントによる確認	①～⑤
第4回	プリント第4回学習範囲	1	学習の手引き及び自己評価	提出プリントによる確認	①～⑤

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

該当クラス：理数科、美術科

1 単元 日記『更級日記』菅原孝標女

2 単元の目標	3 評価規準
<p>読むこと                      ◎平安女流日記文学の特徴を理解する。(I)                      ◎平安時代の人々の生活や仏教に対する意識を学ぶ。(I)                      ◎古語や敬語の知識を活用して、正確に口語訳する。(C)                      言語事項                      ◎読解の基礎となる古典文法を理解する。(I)</p>	<p>読むこと                      ①平安女流日記文学の特徴を理解することができたか。                      ②平安時代の人々の生活や仏教に対する意識を学ぶことができたか。                      ③古語や敬語の知識を活用して、正確に口語訳することができたか。                      言語事項                      ④読解の基礎となる古典文法を理解できているか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	学習プリントの自己採点	1	事前に配布済みの学習プリントの自己採点	提出プリントによる確認	① ～ ④
第2回	事前に集約した学習プリントに関する質問項目	1	動画による質問に対する内容解説	定期考査等	① ～ ③

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

該当クラス：理数科、美術科

1 単元 日記『蜻蛉日記』

2 単元の目標	3 評価規準
<p>関心・意欲・態度 ◎平安時代の結婚制度や夫婦の在り方を、現代と比較しながら学ぶ。(I)</p> <p>読むこと ◎古語や敬語の知識を活用しながら、正確に口語訳する。(C)</p> <p>◎作者の心の動きを繊細な文章と和歌を通して読み取る。(C)</p> <p>言語事項？ ◎読解の基礎となる古典文法を理解する。(I)</p>	<p>関心・意欲・態度 ①平安時代の結婚制度や夫婦の在り方を、現代と比較しながら学ぶことができたか。</p> <p>読むこと ②古語や敬語の知識を活用しながら、正確な口語訳ができたか。</p> <p>③作者の心の動きを繊細な文章と和歌を通して読み取ることができたか。</p> <p>言語事項 ④読解の基礎となる古典文法が理解できているか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	本文通読 学習プリント P1～P3の③の二まで	1	平安時代の特徴 和歌について 本文口語訳(古典文法の確認等)	提出プリントによる確認	① ～ ④
第2回	学習プリント P3の④～P5	1	本文口語訳(古典文法の確認等) 自己評価	提出プリントによる確認	① ～ ④

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

熊本県立第二高等学校 3学年「古典B」シラバス（5月分）

該当クラス：理数科、美術科

1 単元 逸話 「不顧後患」(『説苑』)

2 単元の目標	3 評価規準
<p>読むこと</p> <p>◎語彙や句形の知識を確認しながら正確な書き下しや口語訳を心がける。(C)</p> <p>◎小孺子の説得の巧みさを理解する。(C)</p> <p>◎呉王はなぜ荊を討つことをやめたのか、そのわけを考える。(C)</p>	<p>読むこと</p> <p>①語彙や句形の知識を確認しながら、正確な書き下しと口語訳ができたか。</p> <p>②小孺子の説得の巧みさが理解できたか。</p> <p>③呉王はなぜ荊を討つことをやめたのか、そのわけを考える。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	本文通読 学習プリント P1～P2の⑥	1	書き下し文 本文口語訳(漢文句法の確認等)	提出プリントによる確認	① ～ ③
第2回	学習プリント P2の⑦～P4	1	書き下し文 本文口語訳(漢文句法の確認等) 自己評価	提出プリントによる確認	① ～ ③

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

## 熊本県立第二高等学校 3学年「世界史B」シラバス(5月分)

### 1. 単元 第1章オリエントと地中海世界(1)古代オリエント世界(2)ギリシア世界(3)ローマ世界

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。</li> <li>・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文化の特徴を理解する。</li> <li>・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエントの影響を受けたギリシア・ローマ文明の意義を探究する。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書に掲載されている地理的名称、人物、各文明の資料を理解できている。</li> <li>②地中海一帯の地理的特質、ギリシア文明の基盤になったポリス世界について基本的な知識を身に着けている。</li> <li>③ローマ帝国化の過程やローマ法、皇帝理念、キリスト教などについて把握し、基本的な知識を身に着けている。</li> </ol> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④オリエントの古代文明の現代にまで与えている影響の大きさを考察する。</li> <li>⑤ギリシア文明やローマ文化がのちのヨーロッパ世界に与えた影響を理解する。</li> </ol>

### 4. 授業計画

授業回数	学習内容	学習内容	評価方法	評価規準
①	第1章 1古代オリエント①オリエント世界の風土と人々 ②シュメール人の都市国家	教科書16～18を読み、整理ノート6を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	①④
②	③メソポタミアの統一と周辺地域の動向 ④エジプトの統一国家	教科書18～21を読み、整理ノート6～9を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	
③	⑤東地中海世界の諸民族 ⑥古代オリエントの統一	教科書21～24を読み、整理ノート9～12を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	①④
④	⑦パルティアとササン朝の興亡 ⑧イラン文明の特徴	教科書25～26を読み、整理ノート12～13を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	
⑤	2. ギリシア世界 ①地中海世界の風土と人々 ②エーゲ文明	教科書27～29を読み、整理ノート14を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	④
⑥	③ポリスの成立と発展 ④市民と奴隷 ⑤アテネとスパルタ	教科書29～31を読み、整理ノート14～16を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	②⑤
⑦	⑥民主政への歩み ⑦ペルシア戦争とアテネ民主政 ⑧ポリスの変容	教科書32～35を読み、整理ノート16～18を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	③
⑧	⑨ヘレニズム時代 ⑩ギリシアの生活と文化	教科書35～40を読み、整理ノート18～21を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	⑤
⑨	3. ローマ世界①ローマ共和政 ②地中海制服とその影響 ③内乱の一世紀	教科書40～44を読み、整理ノート22～23を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	②
⑩	④ローマ帝国 ⑤3世紀の危機 ⑥西ローマ帝国の滅亡	教科書44～47を読み、整理ノート24～25を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	②③
⑪	⑦キリスト教の成立 ⑧迫害から国教化へ ⑨ローマの生活と文化	教科書47～51を読み、整理ノート26～29を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	⑤
⑫	教科書p201～p330の見直し (2年次履修した分・やってない部分は独自に進める。)	教科書201～330を読み、整理ノート112～193を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	

#### 【学習方法】

- ①教科書を見ながら整理ノートを埋める
  - ②内容を資料集、参考書(各自で探そう)、動画(classiの学習コンテンツ動画はおすすめ)
  - ③ネットなどを使い、歴史用語・人物を理解する。ネットで世界史一問一答があるので、アウトプットしてください。
- 【上記の範囲の整理ノートを完成させて、休校明けに提出】

第二高等学校 3学年「日本史B」普通科・理数科・美術科シラバス (5月分)

1. 単元 1-2 農耕社会の成立 1-3 古墳とヤマト政権  
2-1 飛鳥の朝廷 2-2 律令国家への道 2-3 平城京の時代 2-4 天平文化

2. 単元の見積

(1-2) 農耕社会の成立

- \*大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて弥生文化の形成を考察する。
- \*集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連付けて考察する。

(1-3) 古墳とヤマト政権

- \*地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。
- \*ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。
- \*古墳時代後期～終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。

(2-1) 飛鳥の朝廷

- \*ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。

(2-2) 律令国家への道

- \*律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。
- \*律令に基づく国内統治体制について理解する。

(2-3) 平城京の時代

- \*律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。
- \*平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する

3 評価規準

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
(1-2) 農耕社会 の成立	弥生文化の成立過程やその社会の特色について関心をもち、日本列島における政治的・地域的な統合が進んでいった歴史的背景を意欲的に追究しようとしている。	弥生時代に農業生産が始まり、階級社会への移行が進んだこととによって、各地で小国の分立へと展開したことを考察し、自らの考えを適切に表現している。	弥生時代の遺跡から出土した土器や金属器などの考古学的遺物から情報を読み取り、同時に、弥生時代後半の中国との交渉について、文献史料から情報を正確に読み取っている。	農耕文化・金属文化としての弥生文化の特色や人々の暮らしの様子と、中国史書にみえる倭人の社会に関する知識を身に付けている。
(1-3) 古墳とヤマト政権	古墳文化の展開と深い関連をもつ大和王権の成立過程に関心をもち、王権が作りだした支配制度の特色や大陸から伝来した新しい思想や文物などについて課題を設定し、意欲的に追究しようとしている。	大和王権が成立した背景や中国との交渉の目的、長期間にわたる古墳文化の時期ごとの特色などを考察し、自らの考えを適切に表現している。	対外交渉に関しては好太王碑などの金石文や倭の五王に関する中国史書の内容を適切に読み取り、古墳文化に関しては副葬品の特色などについての情報や考古学的遺物から正確に読み取っている。	大和王権の成立背景や氏姓制度・部民制度に代表される支配構造に関する知識を身に付け、弥生文化とは異なる古墳文化の展開や新たな大陸文化の伝来について理解している。

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
(2-1) 飛鳥の朝廷	厩戸王や蘇我馬子が推古朝で進めた改革や初代飛鳥の文化に関する関心を追及しようとしている。	6世紀の大和政権が直面した課題について、東アジア世界の大きな変動が導入されたことを考察し、自らを適切に表現している。	推古朝の国政改革について、憲法十七条や遣隋使の派遣を記録する文献とともに、飛鳥文化の世界的な刻み取りを行っている。	大和王権が東アジアの大きな動揺を招いたこと、飛鳥の改革に身を付けている。
(2-2) 律令国家への道	大化の改新のクーデターを経て律令国家が形成される過程に関心をもち、意欲的に追及しようとしている。	中央集権的な律令国家の確立までの大和政権の改革や壬申の乱などの大きな変革を考察し、自らの考えを適切に表現している。	律令国家の形成に向けての課題について、改新の詔や情報をもとに、律令の特色についても読み取っている。	大化の改新を律令国家の形成のきっかけとする政治的意義について理解し、国家の知識を身に付けている。
(2-3) 平城京の時代	平城京における貴族や庶民の生活に関心をもち、文化の国際色が豊かな奈良時代の文化の特色について追及しようとしている。	奈良時代の政治が激しい争いを生んだ背景や、奈良時代の文化に役割を果した役割を考察し、自らの考えを適切に表現している。	平城京における人々の暮らしについて、平城京の図や復元された建造物などの活用して適切に読み取っている。	平城京における暮らしについて理解し、中央集権的な体制のしくみや奈良時代の知識を身に付けている。

#### 4. 授業計画

授業	内容	教科書ページ	整理ノートページ	評価の基準
1	弥生文化の成立、弥生人の生活	p15～19	8～9	①③
2	小国の分立、邪馬台国連合	p19～22	10～11	②③
3	古墳の出現、前期・中期の古墳	p23～25	12～13	③④
4	東アジア諸国との交渉～古墳文化の変化	p26～29	14～15	②④
5	古墳時代の人々の生活～ヤマト政権と政治制度	p29～33	16～17	③④
6	ヤマト政権の発展、飛鳥の朝廷と文化	p34～37	18～19	①④
7	大化の改新～白鳳文化	p38～41	20～21	②④
8	大宝律令と官僚制、民衆の負担	p41～44	22～23	③④
9	遣唐使、奈良の都平城京、地方官衙と辺境	p44～49	23～24	①④
10	藤原氏の進出と政界の動揺、	p49～52	26～27	②③
11	民衆と土地政策、天平文化と大陸、国史編纂と『万葉集』	p52～56	26～29	③④
12	国家仏教の展開、天平の美術	p56～59	28～29	③④

#### 【学習方法】

- ①教科書を見ながら整理ノート（配付のプリント）を埋める
- ②内容を図説、参考書（各自で探そう）、動画（classiの学習コンテンツ動画はおすすめ）で深める
- ③10分間テスト、研究ノートで理解を確認する

【上記の範囲の整理ノートを完成させて、休校明けに提出】

#### 評価について

Classiのwebテスト・アンケート等の解答を用いる。  
休校後に提出する、プリント、ノート類の提出を用いる。



熊本県立第二高等学校 3 学年「地理B」シラバス (5月分)

1. 単元 (1) 林業・水産業 (2) 生活文化と民族・宗教

<p><b>2. 単元の目標</b></p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな森林資源の利用方法や、主要漁場の成立・発展の条件と特色について理解させる。</li> <li>・人種や言語、宗教の違いを理解させる。</li> <li>・世界各地の人種、民族の違いによる対立を理解させる。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人種や言語・宗教の違いがなぜ対立の原因となるのかを考えさせる。</li> </ul>	<p><b>3. 評価規準</b></p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>A. さまざまな森林資源の利用方法や、主要漁場の成立・発展の条件と特色について理解させる。</p> <p>B. 人種や言語、宗教の違いを理解する。</p> <p>C. 世界各地の人種、民族の違いによる対立を理解する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>D. 人種民族問題についてのレポートを作成し、現在の状況についても考察する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>E. 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。</p>
---	---

4. 授業計画

授業回数	学習内容	学習内容	評価方法	評価規準
①	林業	・教科書 p97 ・要点ノート p62～p63 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	A
②	水産業	・教科書 p98～p99 ・要点ノート p64～p67 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	A
③	①, ②の復習	・地理力UPノート p38 Check-2, p39 Work-2 を、①, ②を振り返り、完成。	登校再開後に提出。	E
④	衣食住	・教科書 p164～p169 ・要点ノート p122～p123 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	E
⑤	人種	・要点ノート p124～p125 を教科書、資料集などを参考に完成。 ・南アフリカ、アメリカ、オーストラリアの人種問題、いずれか1つについて調べ(インターネット等の使用も可)、5/11の登校日配付のプリントにレポートをまとめる。	登校再開後に提出。	B D
⑥	言語	・教科書 p170～p171 ・要点ノート p126～p127 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	B
⑦	宗教	・教科書 p172～p173 ・要点ノート p128～p129 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	B
⑧	④～⑦の復習	・地理力UPノート p60～p61 を、④～⑦を振り返り、完成。	登校再開後に提出。	E
⑨	民族問題 1	・教科書 p176～p177 ・要点ノート p130 [16] までを教科書、資料集などを参考に完成。 ・パレスチナ問題について調べ (インターネット等の使用も可)、5/11の登校日配付のプリントにレポートをまとめる。	登校再開後に提出。	C D
⑩	民族問題 2	・教科書 p176～p177 ・要点ノート p130 [17] ～p131 までを教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	C
⑪	難民問題等	・要点ノート p132～p133 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	C
⑫	⑨～⑪の復習	・地理力UPノート p64～p65 を、⑨～⑪を振り返り、完成。	登校再開後に提出。	E

レポートについて

5月11日の登校日に配付されるプリント(A4サイズ)に従って、レポートを作成。  
 ⑤南アフリカ共和国、アメリカ合衆国、オーストラリア、いずれか1つの国の人種問題について調べて、レポートを作成する。書籍や映画、インターネット等の引用、資料添付も可。ただし、引用元を明記すること。  
 ⑨パレスチナ問題について調べて、レポートを作成する。書籍や映画、インターネット等の引用、資料添付も可。ただし、引用元を明記すること。

課題の提出および評価について

レポートについては、プリントに記載された期日にクラスでまとめて、担当者に提出。  
 要点ノート、地理力UPノート、教科書(マーカーやアンダーラインを引くこと)は、登校再開後の授業で回収する。登校再開後、授業内で休校期間中の学習内容に関する小テストを実施する。

第二高等学校 3 学年「倫理」シラバス (5 月分)

1. 単元 日本国憲法

2. 単元の目標	3. 評価規準
<b>【知識及び技能】</b> ・人間、青年期について理解する ・源流思想について理解する <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・疑問を持ちながら資料集を読む <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・計画を立て、実施し、取組をふり返る。	<b>【知識・技能】</b> ①該当箇所の理解ができたことを問題集で確認する <b>【思考・判断・表現】</b> ②資料集の内容を理解できたかどうかを問題集で確認する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ③計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	人間について 青年期について	3	下表で示した該当ページを熟読する	事前に渡してある問題集による確認テスト	①②
第2回	ソクラテス以前	3	下表で示した該当ページを熟読する	事前に渡してある問題集による確認テスト	①②
第3回	ソクラテスの思想	2	下表で示した該当ページを熟読する	事前に渡してある問題集による確認テスト	①②
第4回	プラトンの思想	2	下表で示した該当ページを熟読する	事前に渡してある問題集による確認テスト	①②

月日	曜	時限	教科書(T)、資料集(R)	課題
5月7日	木	②	T6-8、R6	熟読
5月8日	金	④	T9-20、R7-19	熟読(行けるところまで)
5月9日	土	-		
5月10日	日	-		
5月11日	月	-		
5月12日	火	②	T9-20、R7-19	熟読(行けるところまで)
5月13日	水	①	T9-20、R7-19	熟読(最後まで)
5月14日	木	-		
5月15日	金	④	必勝問題集(E) 青1-5	解く、解説熟読
5月16日	土	-		
5月17日	日	-		
5月18日	月	②	T22-23、R22	熟読
5月19日	火	②	T24-26、R23-25	熟読
5月20日	水	-		
5月21日	木	-		
5月22日	金	④	E源1	解く、解説熟読
5月23日	土	-		
5月24日	日	-		
5月25日	月	-		
5月26日	火	②	T26-29、R26-29	熟読
5月27日	水	①	E源2	解く、解説熟読
5月28日	木	-		
5月29日	金	①	T30-32、30-32	熟読
5月30日	土	-		
5月31日	日	-		

## 第二高等学校 3学年美術科「数学A」シラバス（5月分）

### 1. 単元 式の計算、実数、1次不等式、2次関数のグラフ

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整式の展開や因数分解について理解する。</li> <li>・ 根号の計算を理解する。</li> <li>・ 1次不等式の解法を理解する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習内容を振り返り、計算過程を整理して表現する。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画を立て、実施し、取組を振り返る。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 整式の展開や因数分解を理解できる。</li> <li>② 根号の計算を理解できる。</li> <li>③ 1次不等式を解くことができる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 既習内容を振り返り、計算過程を整理して表現できる。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 計画を立て実施し取組を振り返ることができる。</li> </ul>

### 4. 授業計画

授業回	月日	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	5/12 (火)	式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ New Power On 数学 I A II B Review 1, 2</li> <li>・ チェック問題</li> <li>※チェック問題は5/11の登校日に配付</li> </ul>	Reviewの取組状況 チェック問題の投稿 (写真に撮ってClassiで投稿)	①④⑤
第2回	5/19 (火)	実数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ New Power On 数学 I A II B Review 4, 5</li> <li>・ チェック問題</li> <li>※チェック問題は5/11の登校日に配付</li> </ul>	Reviewの取組状況 チェック問題の投稿 (写真に撮ってClassiで投稿)	②④⑤
第3回	5/26 (火)	1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ New Power On 数学 I A II B Review 7, 8</li> <li>・ チェック問題</li> <li>※チェック問題は5/11の登校日に配付</li> </ul>	Reviewの取組状況 チェック問題の投稿 (写真に撮ってClassiで投稿)	③④⑤

### 5. 使用教材

- ・ New Power On 数学 I A II BのReview (4月27日(月)の登校日に配付したプリント冊子)
- ・ チェック問題 (5月11日(月)の登校日に配付するプリント冊子)

## 第二高等学校 3 学年美術科「数学B」シラバス（5 月分）

### 1. 単元 第1章 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内分点、外分点、三角形の重心の位置ベクトルを表す公式を理解する。</li> <li>・点Pが直線AB上にあることをベクトルで表現して利用する。</li> <li>・図形上の頂点の位置ベクトルを定めて、図形を考察する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の性質を考察するうえで、ベクトルの有用性を理解する。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、実施し、取組を振り返る。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①内分点、外分点、三角形の重心の位置ベクトルを表す公式を利用できる。</li> <li>②点Pが直線AB上にあることをベクトルで表現して利用できる。</li> <li>③図形上の頂点の位置ベクトルを定めて、図形を考察できる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④図形の性質を考察するうえで、ベクトルの有用性を理解できる。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤計画を立て実施し取組を振り返ることができる。</li> </ul>

### 4. 授業計画

授業回	月日	時間数	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	5/14(木)	2	・位置ベクトル ・内分点、外分点の位置ベクトル ・三角形の重心の位置ベクトル	教科書 P32～35 ※教科書を利用した解説動画を見ながら進める。	毎日の投稿状況	①⑤
第2回	5/21(木)	2	・直線上の点	教科書 P36, 37 ※教科書を利用した解説動画を見ながら進める。	毎日の投稿状況	②④⑤
第3回	5/28(木)	2	・交点の位置ベクトル	教科書 P38, 39 ※教科書を利用した解説動画を見ながら進める。	毎日の投稿状況	③④⑤

### 5. 使用教材

- ・教科書 数研出版 最新 数学B

熊本第二高等学校 3学年美術科「科学と人間生活」シラバス (5月7日～21日分)

1. 単元 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系とその成り立ち  
 (1) 地球のエネルギー収支 (2) 大気の大循環

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生物がそれを取り巻く環境とともに生態系をつくっていることを理解する。</li> <li>生物は生産者や消費者に分けられ、それぞれの役割を担っていることを理解する。</li> <li>個体数や生物量を栄養段階が下位のものから重ねるとピラミッド状になることを理解する。</li> <li>地球全体の熱収支や大気の大循環とそれによる地球規模の熱の輸送について理解する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生態系がどのようなものであるかを把握し、生態系の保全の重要性を認識する。</li> <li>地球全体のエネルギー収支について考える。</li> <li>緯度によるエネルギー収支の違いについて考える。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画を立て、実施し、取組をふり返る。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>多様な生物がそれを取り巻く環境とともに生態系をつくっていることを理解できる。</li> <li>生物は生産者や消費者に分けられ、それぞれの役割を担っていることを理解できる。</li> <li>個体数や生物量を栄養段階が下位のものから重ねるとピラミッド状になることを理解できる。</li> <li>地球全体のエネルギー収支が釣り合っていることを理解できる。</li> <li>緯度によるエネルギー収支の違いについて理解できる。</li> </ol> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生態系がどのようなものであるかを把握し、生態系の保全の重要性を認識できる。</li> <li>地球全体のエネルギー収支について考えることができる。</li> <li>緯度によるエネルギー収支の違いについて考えることができる。</li> </ol> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>計画を立て、実施し、取組をふり返ることができる。</li> </ol>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	1A 生態系 1B 作用と環境形成作用 1C 生態系における生物の役割 2A 食物連鎖と食物網 2B 生態ピラミッド	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書P182～187を読む。</li> <li>アクセス生物基礎(P78)を参考にし、ノートに要点をまとめる。</li> </ul>	後日、ノートを提出  定期考査	(1) (2) (3) (6) (9)
第2回	地球のエネルギー収支	<ul style="list-style-type: none"> <li>NHK 高校講座「第29回～大気の大循環～」動画視聴、学習メモ pdf を読む。</li> <li>教科書P121～P123を読む。</li> <li>Navi&amp;トレーニングP52②、P53の問題番号64を解く。</li> <li>Navi&amp;トレーニングP54、P55の問題番号65、66、67を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Classi のwebテスト</li> <li>Navi&amp;トレーニングの内容を用いる。</li> <li>定期考査</li> </ul>	(4) (7) (9)
第3回	1A 生態系 1B 作用と環境形成作用 1C 生態系における生物の役割 2A 食物連鎖と食物網 2B 生態ピラミッド	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究ノート</li> <li>P118 ウォーミングアップ(1)～(4)</li> <li>P119 基本問題 109～110</li> <li>P114 基本問題 114</li> <li>必修アクセス生物基礎 P82 導入問題(1)～(5)</li> <li>※ 問題をルーズリーフ用紙に解き、自己採点后に訂正をして登校日に提出してください。</li> </ul>	提出  定期考査	(1) (2) (3) (6) (9)
第4回	熱の輸送、空気にはたらく力と風、高気圧と低気圧熱の輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書P124～P125を読む。</li> <li>Navi&amp;トレーニングP56、P57の問題番号68、69、70を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Classi のwebテスト</li> <li>振り返りアンケート</li> <li>Navi&amp;トレーニングの内容を用いる。</li> <li>定期考査</li> </ul>	(5) (8) (9)

熊本県立第二高等学校 3 学年「地学応用」シラバス（5 月 7 日～5 月 22 日分）

1. 単元 (1) 活動する地球

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球の形の特徴と大きさや地球内部の層構造とその状態、プレートの分布と運動およびプレート運動に伴う大地形の形成、地震の発生のしくみ、火山活動と火成岩の形成のしくみについて理解する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから考える。</li> <li>地球内部の層構造とその状態について考える。</li> <li>中央海嶺、海溝、大山脈のような大地形がプレートの運動によって形成されることについて考える。</li> <li>地震の発生のしくみをプレートの運動と関連づけて考える。</li> <li>火山活動をプレートの運動と関連づけて考える。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画を立て、実施し、取組をふり返る。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地球の形の特徴と大きさ、地球内部の層構造とその状態について理解できる。</li> <li>3 種類のプレート境界とプレート運動による大地形の形成が理解できる。</li> <li>地震の発生のしくみが理解できる。</li> <li>プレート境界やプレート内部における火山分布や火山活動の特徴や組織と造岩鉱物の組成に基づく火山岩の分類が理解できる。</li> </ol> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから考えることができる。</li> <li>地球内部の層構造とその状態について考えることができる。</li> <li>中央海嶺、海溝、大山脈のような大地形がプレートの運動によって形成されることについて考えることができる。</li> <li>地震の発生のしくみをプレートの運動と関連づけて考えることができる。</li> <li>火山活動をプレートの運動と関連づけて考えることができる。</li> </ol> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>計画を立て実施し取組をふり返ることができる。</li> </ol>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	地球の概観 地球の内部構造 プレートテクトニクスと地球の活動	・チェック&演習地学基礎の基本演習の問題番号 8～18 をルーズリーフに解く。	・Classi の web テスト ・チェック&演習を解いた内容を用いる。 ・定期考査	①② ⑩
第 2 回	プレートテクトニクスと地球の活動、地震、火山活動と火成岩の形成	・チェック&演習地学基礎の基本演習の問題番号 19～28 をルーズリーフに解く。	・Classi の web テスト・振り返りアンケート ・チェック&演習を解いた内容を用いる。 ・定期考査	③④ ⑩

第二高等学校 3 学年「コミュニケーション英語Ⅲ」シラバス（5月分）

1. 単元 長文読解（歴史・文化）

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化についての英文を読み、正しく理解する。</li> <li>・語法や構文についての知識を増やす。</li> <li>・文中の語彙や表現を正しく理解する。</li> </ul> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論旨展開を理解し、要約する。</li> <li>・テーマについて自分の意見を表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、実施し、取組をふり返る。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①歴史・文化にテーマについての英文を正しく理解できる。</li> <li>②語法や構文について知識を増やし理解できる。</li> <li>③文中の語彙や表現を正しく理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④論旨展開を理解し、要約することができる。</li> <li>⑤テーマについて自分の意見を表現できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥計画を立て実施し取組をふり返ることができる。</li> </ul>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	長文読解 (Custom)	1	・NEO 現代を読む Unit 1 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③
		2	・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く	Classi による取組の振 り返りアンケート	④ ⑥
第2回	長文読解(Hero)	3	・NEO 現代を読む Unit 2 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③
		4	・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く	Classi による取組の振 り返りアンケート	④ ⑥
第3回	長文読解 (Accident)	5	・NEO 現代を読む Unit 3 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③
		6	・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く	Classi による取組の振 り返りアンケート	④ ⑥
第4回	長文読解(Art)	7	・NEO 現代を読む Unit 4 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③

		8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を見て自己採点。</li> <li>・本文を3回音読する。</li> <li>・補助プリントを解く</li> </ul>	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第5回	長文読解 (History)	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NEO 現代を読む Unit 5を解く。</li> <li>・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。</li> </ul>	Classiによる確認テスト	① ② ③
		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を見て自己採点。</li> <li>・本文を3回音読する。</li> <li>・補助プリントを解く</li> </ul>	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第6回	長文読解 (Language)	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NEO 現代を読む Unit 6を解く。</li> <li>・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。</li> </ul>	Classiによる確認テスト	① ② ③
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を見て自己採点。</li> <li>・本文を3回音読する。</li> <li>・補助プリントを解く</li> </ul>	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第7回	長文読解 (Education)	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NEO 現代を読む Unit 7を解く。</li> <li>・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。</li> </ul>	Classiによる確認テスト	① ② ③
		14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を見て自己採点。</li> <li>・本文を3回音読する。</li> <li>・補助プリントを解く</li> </ul>	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第8回	長文読解 (Education)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NEO 現代を読む Unit 8を解く。</li> <li>・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。</li> </ul>	Classiによる確認テスト	① ② ③
		16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を見て自己採点。</li> <li>・本文を3回音読する。</li> <li>・補助プリントを解く</li> </ul>	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥

※5月15日(金)、22日(金)、29日(金)にチャックで英単語の確認テストを配信します。生徒は各自で解いて自己採点。



## 第二高等学校 3学年美術科「素描」シラバス（5月分）

### 1. 単元 鉛筆デッサン（選択モチーフ）

2. 単元の見直し	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b> 鉛筆の特性について理解を深め、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> デッサンを通して対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> デッサンを追求する態度を養う。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ①鉛筆の特性について理解し、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ②鉛筆デッサンの知識や技能を活用し、発想や構想を練ることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ③鉛筆デッサンの技法や作品を主体的に鑑賞し、自らの作品制作に生かすことができる。</p>

### 4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	自分の課題を設定する	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が理想とするデッサンを選び、分析する。</li> <li>・自分が描くモチーフ（人物・器物）を設定し、主題を設定する</li> </ul>	ワークシート (Classi)	② ③
第2回	鉛筆デッサン①	2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題に応じて構想を練る（クロッキー＋文字）。</li> <li>・描き出しの留意事項を意識し、描き進める。</li> </ul>	クロッキー  ※登校日に持参。もしくはオンラインでアドバイスをもらう。	② ③
第3回 第4回	鉛筆デッサン②	4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサンを進める。</li> </ul>	作品	① ③

第二高等学校 3 学年美術科「構成」シラバス（5 月分）

1. 単元 平面構成

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b> 平面構成に関わる諸要素について理解を深め、基礎となる技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力, 判断力, 表現力等】</b> 平面構成の表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p><b>【学びに向かう力, 人間性等】</b> 造形感覚を高めようとする態度を養う。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ①平面構成に関わる諸要素について理解を深め、基礎となる技能を身に付けることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ②形態や色彩に関する知識を活用して、発想や構想を練ることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ③様々な平面構成を主体的に鑑賞し、自らの作品制作に生かすことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	平塗りのバリエーション①②	1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを読み平塗りのバリエーションとその効果について知る。</li> <li>・2種類の平塗りを使用した平面構成の構想を練る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品 (Classi による途中評価)</li> </ul>	① ②
第2回	平塗りのバリエーション③	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した平面構成を作成する。</li> <li>※完成後、制作意図や感想をClassiに入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・制作意図 (Classi)</li> </ul>	① ③

- ・VDと連携させて取り組む。また、時間外も制作を進めてください。
- ・Classiの「VD・構成(49A)」にて随時質問を受け付ける。

## 第二高等学校 3 学年美術科「絵画」シラバス（5 月分）

### 1. 単元 「卒業・第二高校・世界」をテーマに描く

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】 幅広い絵画表現の特性への理解を深めるとともに専門的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 制作を通して表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵画表現の可能性を追求する態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】 ①幅広い絵画表現の特性を理解し、表現に必要な技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②テーマから発想を広げるとともに、意図に応じた表現形態を選んで構想を練ることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ③自ら生成した主題に応じて表現形式を選択し、主体的に鑑賞するなどして自らの制作に生かすことができる。</p>

### 4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	発想・構想を練る	1	・テーマに発想を広げる ・イラストレーションや抽象画など様々な表現で描かれた作品について、鑑賞する。	・ワークシート	②
		2			③
第2回	エスキース作成	3	・エスキースを作成する。	・エスキース	②
		4			③
第3回	画用紙に制作	5	・構想をもとに制作し、密度を上げる。	・作品	①
		6			③

・画材は鉛筆、アクリル絵の具、透明水彩等を

第二高等学校 3 学年「版画」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 木版画

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・版種の特徴について理解し、木版画の専門的な技能を身に付けるようにする。</li> </ul> <p><b>【思考力, 判断力, 表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木版画の表現と鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力, 人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木版画の可能性を追求する態度を養う。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①木版画の特徴を理解し、制作に必要な技能を身に付けることができる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②多版多色刷りの知識や技能を活用し、発想や構想を練ることができる。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③伝統的な木版画の技法や作品を主体的に鑑賞し、自らの作品制作に生かすことができる。</li> </ul>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	版種と仕組み	1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを読み、版種の特徴をワークシートにまとめる。</li> <li>・版画作品について調べてみる。</li> </ul>	ワークシート	① ③
第2回	多色刷り版画	3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTubeの動画を視聴する。</li> <li>・オリジナル作品の主題を考えエスキースを作成する。</li> <li>・オンラインによる質問受付。</li> </ul>	ワークシート	③ ②
第3回	原画の完成と色版分け	5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水彩による原画の作成。</li> <li>・色ごとに版を分け、トレースする。</li> </ul>	登校日または classi による原画の提出	① ② ③

《YouTube》①江戸からたどる大マンガ史展「木版画の作り方～竹中木版・竹笹堂～」

②「多色刷木版画制作の様子」久木明子

## 第二高等学校 3学年美術科「彫刻」シラバス（5月分）

### 1. 単元 塑像（頭像）

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b>                      塑造の特性、人体表現について理解を深め、専門的な技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>                      人物をモチーフとした彫刻の表現や鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>                      彫刻表現の可能性を追求する態度を養う。</p>	<p><b>【知識・技能】</b>                      ①粘土での表現や人体の構造について理解し、表現に必要な技能を身に付けることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>                      ②頭像制作に必要な知識や技能を活用し、発送や構想を練ることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>                      ③人体を表現した彫刻を主体的に鑑賞し、自らの制作に生かすことができる。</p>

### 4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	クロッキーによる人体把握	1 2	・人体のプロポーションやムーブマンを意識し、クロッキーを行う。	・クロッキー	① ②
第2回	デッサンによる人体把握	3 4	・構造を意識しながら、頭部を鉛筆でデッサンする。 ・オンラインによる質問受付、アドバイスを行う。	・作品	① ②
第3回	デッサンによる人体把握	5 6	・質問やアドバイスを受け、更に描き進める。	・作品 ・ワークシート (Class i)	① ③

※早く終了した生徒は、美術の他の科目の課題に取り組んで下さい。

## 第二高等学校 3 学年美術科「ビジュアルデザイン」シラバス（5 月分）

### 1. 単元 ビジュアルデザインの基礎

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b> ビジュアルデザインの視覚的な伝達効果について理解を深め、専門的な技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ビジュアルデザインの表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断、表現力を育成する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ビジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ①ビジュアルデザインの視覚的な伝達効果について理解を深め、表現に必要な技能を身に付けることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ②ビジュアルデザインに関する知識や技能を活用して、発想や構想を練ることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ③様々なビジュアルデザインを主体的に鑑賞し、自らの作品制作に生かすことができる。</p>

### 4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	作品リメイクによる推敲①	1	・より意図に応じた構成になるよう、完成作品を分析する。	・ワークシート	① ②
第2回 第3回	作品リメイクによる推敲② 〃 ③	2 3 4	・意図に応じたデザインになるようリメイクする。	・作品 (Classi による途中評価)	② ③
第4回	作品リメイクによる推敲④	5 6	・制作を進め、完成させる。	・作品	① ③

- ・構成と関連させて取り組んでください。
- ・Classiの「VD・構成(49A)」にて随時質問を受け付ける。

熊本県立第二高等学校 3年 鑑賞研究 シラバス(5月分)

1. 単元 絵画表現

<p><b>2. 単元の目標</b></p> <p><b>【知識・技能】</b> ・テキストを的確に理解する。</p> <p><b>【思考力, 判断力, 表現力等】</b> ・知識や経験を結びつけ、美術史を横断的に理解する。</p> <p><b>【学びに向かう力, 人間性等】</b> ・自身の制作に対する意欲やこれからの美術体験に結びつける</p>	<p><b>3. 評価規準</b></p> <p><b>【知識・技能】</b> ①テキストの内容を理解し、レポートを作成できた。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ②時系列、ジャンル別、時代背景など複数の視点でトピックを理解できた。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ③具体的な態度の記述や独自に調査・探究した内容レポートに現れている。</p>
---	---

3 資料 「学習設計マニュアル」※1年次に使用

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	第2章	2	(1)テキストの要約 (2)感想	ワークシートの提出	①
第2回	第3章	2	(1)テキストの要約 (2)感想		②
第3回	第4章	2	(1)テキストの要約 (2)感想		③

熊本県立第二高等学校 3 学年「GR・AS」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) テーマ研究の要約

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識・技能】</b>                      ①研究の課題が明確に示す。                      ②全体を通して論理的な研究を展開する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>                      ③客観的根拠を示しながら研究を展開する。                      ④文法や表現など適切に英訳する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>                      ⑤探究活動の趣旨を理解し、発見した課題を提案する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b>                      ①研究の課題が明確に示すことができる。                      ②全体を通して論理的な研究の展開ができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b>                      ③客観的根拠を示しながら研究の展開ができる。                      ④文法や表現など適切に英訳ができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>                      ⑤探究活動の趣旨を理解し、発見した課題を提案できる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GR・ASⅢの目標について共有する。</li> <li>・ワークシートを用いてルブリック評価について説明する。</li> <li>・2年次に行ったテーマ研究について確認し、見直しをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート記載の評価表に基づき、【poor=1, fair=2, good=3, Excellent=4】の4段階で実施。</li> </ul>	①⑤
第2回	テーマ研究の要約 (日本語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の背景、目的、手法、結果、結論について40～60字程度でまとめる (ワークシート利用)</li> <li>・目的と結論がつながっているか確認する。</li> <li>・次回の英訳に向けて単語を調べる。 (※早くできた人は英訳に入る)</li> </ul>		②③
第3回	テーマ研究の要約 (英語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回でまとめた項目について10～20語程度でまとめる (ワークシート利用)</li> <li>(※早くできた人は、2人1組で発表をする)</li> </ul>		④